

ひがしどおり来さまい フェスタ 2019

令和
初開催!

今年もたくさんのご来場ありがとうございました!



挨拶をする越善村長



聴きごたえ満点の民謡ショー



息の合った演奏で会場を魅了



一日灯台長の南谷悠吾くん



会場も観客も一体となった盆踊り大会



客席も「丘みどりショー」

令和の時代になって初開催となった「ひがしどおり来さまいフェスタ2019」が、今年も多くの皆様のご協力のもと、盛大に開催されました。

24日(土)の「来さまい宵祭り」では、夕方3時の開会宣言とともに「尻屋埼灯台一日灯台長任命式」が執り行われ、東通小学校5年生の南谷悠吾君(尻屋地区)が凛々しい制服姿で登場しました。南谷君は25日(日)も尻屋埼灯台で来場者をお出迎えするなど、一日灯台長の責務を立派に果たしました。

続いてステージでは恒例となった「東通小・中学校吹奏楽コンサート」が行われ、息の合った合同演奏にアンコールの拍手が送られました。吹奏楽のあとは、第44代青森県民謡王座の二本柳征勝さん(小田野沢地区)はじめ熟練の名人達による「東通村民謡ショー」が開催され、謡・囃子・踊りの妙技に感嘆の声が上がりました。

そして、お待ちかねの「丘みどり歌謡ショー」の開演。遠くは関東地方からも初めて東通村へ訪れるなど、会場から溢れんばかりの観客で大盛り上りのステージとなりました。

宵祭りを締めくくったのは、「来さまい流し踊り・盆踊り大会」。今年は盆踊り会場を庁舎前道路に移し、特設の櫓も設置されました。流し踊りには村長はじめ実行委員会や連合婦人会、村内企業や福祉施設の職員などが多数参加。最後には観客も一緒に輪になり、夏の終わりを惜しむかのように会場は一つになりました。

25日(日)の来さまいフェスタ本祭は、下北各地から集合したご当地キャラと子供たちの「キャラリ